



市のPTA役員らが学校選択制について討議。「ほとんどが賛成」という市長の実感とはうらはらに、賛否は分かれた＝大阪市北区の生涯学習センター

学校選択制「想像とちやう」

大阪市の橋下徹市長が「保護者の大半が賛成している」と実現をすすめる学校選択制。居住地にとられず学校を選べることを歓迎する保護者は多いとされ、小学校では約240、中学校で約180の自治体が選択制を実施している。だが大阪市のPTA協議会が23日、初の勉強会を開いて先進地の東京都の事例を詳しく説明すると、保護者から「思ってたのとちやう」という声が相次いだ。

制約多くて保護者びっくり

学校選択制
橋下氏の発言



市内24区で最大1千人規模の住民と会合を開いたら、8割が賛成だった。少数派ではなく多数の声を聞いてほしい(2011年12月、市教委との会合で)

(学校選択制を)導入しているのは300近く。変更したのは二つ。総合的な状況をみればうまくいっているんですよ(2012年1月、報道陣に)

僕の政治家の感覚として学区制は7割以上が賛成している。選択は外せない視点(同年2月22日、市教育委員との意見交換会)

学習会は、市内のPTA役員ら88人を対象に開いた。市教委がまもなく保護者の意見を集約すると聞いたため、先行事例を元に、メリットとデメリットを整理しておこうと考えたという。佐竹義久会長(37)は「やる以上は、だめやったからすぐやめるといふ混乱を避けたいので、どんどん声を上げていただきたい」とあいさつした。

講師を務めたのは、市教委で学校の新設や統廃合を担当する小川芳和部長。選択制導入を公約にした橋下市長の当選後、先進地の東京に出向き、品川、江東、板橋、荒川の各区で選択制の現状を聞き取ったという。小川部長はくぎを刺し

た。「学校選択制は、保護者が何でも自由に選べる制度ではありません」特定の学校に人気が集する傾向があり、定員を超過した希望があれば抽選となる。「抽選に落ちたら子どもが傷つく」と神経をとがらせる保護者も多く、不公平を生まないようにするため、学校を選択できるのは入学時の1回だけ。その後は別の学校を選び直したくても認めない区がほとんどだ。兄弟を同じ学校に行かせたいという希望も考慮しない区もある。

市内全域から自由に学校を選べる「自由選択制」のほか、「ブロック選択制」「隣接区域選択制」などがあるが、東京では近年、自

「特色ないと無意味」

説明を聞いた後、学校選択制への賛否を聞かれた参加者。「賛成」27人、「どちらともいえない」46人、「反対」10人。佐竹会長が「自分が思っていたのと違うという人は？」と問うと約8割の手が挙がった。会場からは質問が飛ん

だ。「部活動が強いことを理由に学校を選んだのに、顧問の先生が人事異動でいなくなることもあるのか」。小川部長が「東京では、教員の異動のしくみは変えていない」と説明すると、「そんなん困りますやん」。このほか、「区内の学校

学校選択制

が進み、全国に広がった。大阪では昨年11月のダブル選で橋下徹・大阪市長が「グローバル化に対応できる人材を育てるには学校の切磋琢磨(せつさくたくま)が不可欠」と選択制導入を公約に掲げて当選。14年の実施をめざしている。

義務教育である小中学校は地域の学校に通うのが原則だったが、2000年代に東京都の各区で「保護者の意見を取り入れた特色ある学校づくり」を目指す規制緩和策の一環として導入

は規模もレベルもほぼ横並び。特色を出せない選択制は意味がない。「地域住民が通学路の見守り活動などを担っている。選択制で地域との関係が薄まる」と心配する声が上がった。一方、選択制に期待をかける意見も。統廃合が見込まれる小規模校に通う子どもへの父親は、「学力テスト、体力テストともトツクラスの学校。テストの順位を公表して選択制を導入すれば児童が増えるはず」。

24日花粉情報

大阪	少ない
兵庫南部	少ない
京都南部	少ない
滋賀南部	少ない
奈良北部	少ない
和歌山北部	少ない

●日本気象協会調べ

佐竹会長は「80人でもこれだけ多様な意見が出る。市内の保護者は19万人。決して一色ではない」と実感を述べた。「区や学校ごとに勉強会を重ね、正確な情報を知った上で保護者に意見を出していただき、市長に伝えたい」(阿久沢悦子)